

平成三十年度

上宮学園中学校入学考査問題（一次B）

国語

（注意）

- （1） この問題用紙は、「開始」の放送があるまで開いてはいけません。
- （2） 問題は「一」から「二」まであります。試験時間は五十分です。
- （3） 解答用紙は別に一枚あります。
- （4） 解答用紙には、必ず受験番号・名前を記入しなさい。
- （5） 「終了」の放送で、筆記用具を置きなさい。

一 次の文章は、小学六年生の良太君の家庭での会話を書いたものです。【良太君の家族のやりとり】を読んで、後の問いに答えなさい。

【良太君の家族のやりとり】

良太 今日(けふ)は学校の課外授業で、老人ホームにみんなで行ってお年寄り(おきな寄り)とふれあってきたよ。先生が教えてくれたんだけど、老人ホームの利用者数は年々増え続けているんだって。

母 お年寄りのお世話を家族だけがするのは本当に大変だから、そういうシセツaは今後も必要になるはずよ。昔は家庭の中で、家族みんなが協力してお世話をしたものだけど、最近は家族のあり方も変わってきて、なかなか難しいわね。ところで、老人ホームではどんなことをしてきたの？

良太 みんなでいっしょに歌を歌ったり、若いころの体験について教えてもらったりしたんだ。介護かいごのホジヨbも体験したよ。それで、お年寄りのみなさんはどんな様子だったの？

良太 明るく話しかけてくれる人が多かったよ。老人ホームのお年寄りは身体の不自由な人ばかりだろうと思っていたから、いろいろ手助けしようとして張り切っていたんだけど、実際会ってみると思っていたより元気な人も多くてびっくりしたな。

母 そうね。同じお年寄りといっても、体の調子一つとってもいろいろな方がいるのよ。

良太 そういえば、お年寄りcと会うジュンビcをしている時、ホームの職員さんが「お年寄りのと上手な接し方」を教えてくださいました。

母 へえ、どんなことを教えてもらったの？

良太 まず、一人一人ちが違う人格だと理解しておくこと。同じことをされても喜ぶ人といやがる人がいるんだ。それから、相手のペースを尊重すること。ぼくは何でも早くできた方がいいと思っていたんだけど、そうでもないらしいんだ。あとは……そうそう、自分の考えだけで何でもかんでも助けられないのも大事だよ、って言われたな。これにはとてもおどろいたなあ。

父

確かに、それは思いつきにくいことかもしれないな。お年寄りと接する時はどうしても「何か助けてあげなくては」という **A** を持って接してしまう人も多いからね。でもそれは、本当に相手のことを考えているとは言えないよ。

良太

相手を助けてあげるのに、相手のことを考えているとは言えないって、どういうこと？

父

もちろん、相手が本当に助けて欲しいと思っほているときは手を貸した方がいいんだ。でも相手の考えもよく聞かなくちゃいけないよ。「相手は今、助けを求めているはずだ」という先入観によって、初めから全部手を貸すのは相手のためにならないこともあるし、ケツキョクdこちらのしたいようにしている自己満足なんじゃないのかな。

母

お年寄りにも「こうしたい」っていう自分の考えがあるだろうし、自分でできることはできるだけ自分でやった方が身体にもいいわよね。求められてもいないのに手を貸すのは単なるおせっかいと言えるわ。

良太

なるほど。ぼくは、**B** ことをしてあげれば、いつも相手に喜ばれると思っていたけど、そうとは限らないんだね。でもぼくと相手は違う人間なんだから、考えてみれば当然だね。いい経験をする機会だったから、今後はもっとたくさんのお年寄りとうまく接することができるようにになりたいな。

父

お年寄りに限らず、身のまわりのいろいろな人と接するときも同じようなことが言えると思うよ。例えば、学校の友達とのつきあい方にもあてはめて考えてごらん。

問1 — 線部 a と d のカタカナを、それぞれ漢字に直して答えなさい。

問2 近年、老人ホームの利用者数が増えているのはなぜだと考えられますか。お年寄りの数が増えている以外の理由を本文中の言葉を使って**四十字以内**で答えなさい。(句読点なども一字に数えます。)

問3 良太君の話の中に「一人一人違う」とありますが、このことを表す四字熟語じゆくごを漢字で答えなさい。ただし、四字とも異なる漢字とします。

問4 本文中から読みとれる、お年寄りと接するうえで大切なことを**三つ**答えなさい。

問5

| |
|---|
| A |
|---|

に入る言葉を本文中から**三字**でぬき出して答えなさい。

問6

| |
|---|
| B |
|---|

に入る言葉を、**十字以内**で自分で考えて答えなさい。

問7 他者と接するうえでどのようなことに注意することが大切だと思いますか。あなたの意見を具体例を挙げながら**八十字以内**で書きなさい。ただし、次の「きまり」にしたがって書くこととします。

「きまり」

・ 題名は書かず、最初のマスから書き始めなさい。

・ 段落は変えず、一段落でまとめなさい。

・ 句読点なども一字に数えます。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ドレスにつけるバラの花のような形の胸飾りむねかざをロゼットという。ロゼットとは、バラの花を意味するローズに由来する言葉である。うつむきながら、凍こてついた道を歩いていると、まるでバラの花びらのように、地面の上に放射状注に葉を広げた植物を見つけることができるだろう。このスタイルこそが草本植物注の有名な冬越しふゆこのスタイルである。胸飾りのロゼットに似ているため、この冬越しスタイルもロゼットの名で呼ばれている。

ロゼットの茎くきはほとんどないように見える。その短い茎に葉を密につけて、地面にぴったりとつけているのである。外気に当たる面積は葉の表側のみ。葉の裏側は暖かな地面でまもられている。外気に当たる面積は最低限なのだ。そして、葉は無駄むだに重ならないように放射状に広げ、最大限の効率で光を受けるのである。

このロゼットは、冬越しのスタイルとして相当機能的なのだろう。さまざまな植物がこのスタイルを選択せんたくし、見かけはよく似たロゼットを作って冬を越している。キク科のタンポポもアブラナ科のナズナも、アカバナ科のマツヨイグサも、オオバコ科のオオバコも。およそ花が咲けば似ても似つかないさまざまな種類の植物が、冬の間は、見かけがそっくりなロゼットを作っているのだ。

光を受けながら寒さを避ける理想的な形、ロゼット。しかし、ロゼットの秘密はそれだけではない。

タンポポコーヒーというものをご存知だろうか。これはタンポポの根っこから作るコーヒーである。家庭でも作ることができるのでぜひ試してみたい。タンポポコーヒーの作り方はけっしてむずかしくないが、タンポポの根を手に入れるのは少し大変である。なにしろタンポポの根っこを掘ほってみようとしても、掘り出すのは簡単ではないのだ。実はタンポポのロゼットの下には、ゴボウのような太くて長い根っこが地面の奥へ伸びているのである。

このゴボウを細かく切って干したものを焙煎注すると、タンポポコーヒーができる。ほろ苦い香りに根っこを掘りあげた苦勞も手伝って、なんとも言えない味わい深い一杯いっぱいとなるだろう。

実は、この太くて長い根っここそがロゼットの秘密である。ロゼットは、ただ地面にひれ伏ふして寒さに耐たえているだけではない

い。いっぱいに広げた葉に受けた太陽エネルギーで光合成を行い、地面の下の根っこに蓄えていたのだ。冬のさなかでの光合成。しかし、意外にもその効率が悪くないという。

気温が低くなると光合成の速度は遅くなる。夏の太陽の下での光合成にくらべると生産性の低下は免れないのだ。しかし、気温が高い夏は光合成量も多いが、呼吸の量も激しくなる。せっかく稼いだ栄養分を呼吸によって消費してしまうのだ。収入も多いが、支出も多いため生活は言うほど楽ではない。働いた割には分が悪いということになる。

一方、冬はどうだろう。確かに光合成量は少ないが、気温も低いので呼吸の量も抑えられる。少ない収入でも支出も少ないので、コツコツ働けば働いた分だけ手元に残る。利益率は悪くないのだ。

注 傍目には寒風を耐え忍んでいるだけに見えるロゼットが、実はせっせと光合成を行って根に栄養分を蓄えているのである。

冬の寒さを乗り切るもつとも安全な方法は種子である。なにも冬の寒いときに地面の上に葉を広げる必要はない。へびやカエルと同じように、暖かな地面の下で冬越しをしていれば、寒さをやり過ごすことができる。

それでもなお、地面の上に葉を広げて頑張ろうというロゼットがある。なぜだろう。

春の来ない冬はない。やがて、つらかった冬も終わり、暖かな季節が訪れる。そのとき、じっと耐え忍んでいたかに見えたロゼットたちの株は、蓄えたエネルギーで茎を伸ばし、一気に花をつけることができるのだ。

土の中で安全に冬を越した種が芽を出したとしても、花を咲かせるまでには相当の時間がかかる。これに対してロゼットたちは、春の訪れとともにいち早く、花を咲かせることができるのである。しかも、冬の時代の頑張りが、そのまま春の成功になる。寒さの中でたくさん栄養分を蓄えた株ほど、大きく成長し、たくさん花を咲かせることができるのだ。

もし、冬がなかったとしたらどうだろう。ロゼットは他の植物に先駆けて花を咲かせることができたろうか。冬があるからこそ、ロゼットを形成する植物は他の植物に対して優位な立場に立つことができたのだ。そう考えると、ロゼット植物にとって厳しい冬の時代はけっして耐え忍ぶものではない。成功するために不可欠な、勝負の季節なのである。

（蓮実 香佑 『植物』という不思議な生き方』による）

注

凍てついた……温度が低いせいで凍こおってしまった状態。

放射状……ある点を中心にして四方八方に向けて広がる様子。

草本植物……地上部に木の部分がほとんどない植物。草の総称。

焙煎……火であぶって水気を飛ばすこと。

傍目……物事を外側から見た感じ。

問1 ——線部「冬越しのスタイル」とありますが、具体的にはどのようなスタイルですか。本文中の言葉を使って**六十字以内**で答えなさい。(句読点なども一字に数えます。)

問2 ロゼットを作ることの利点を、他の植物との関係に注目して**八十字以内**で書きなさい。ただし、次の「きまり」にしたがって書くこととします。

「きまり」

- ・ 題名は書かず、最初のマスから書き始めなさい。
- ・ 段落は変えず、一段落でまとめなさい。
- ・ 句読点なども一字に数えます。